

乳がんの早期発見のために

当院では最新式の「乳房用超音波画像診断装置」を導入いたしました。
痛みが少なく、妊娠の可能性のある方でも検査をすることができます。



月～金の午前中 8:30～11:00 (木のみ9:30) の受付です。
窓口は主に婦人科外来になりますが、以前外科で検査を受けられていた方は外科へ問い合わせてください。
検査時間は15分程度です。女性技師が対応します。食事制限はありません。

マンモグラフィーと超音波の併用で、早期乳がんの発見率が約1.5倍になるという研究結果が2015年に発表されました。

検査(最新式の乳房用超音波画像診断装置)のご説明

<従来の超音波装置との違い>

	新しい超音波装置	従来の超音波装置
特徴	自動で動いて撮影を実施	検査者が乳房の上を走査して撮影を実施
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 検査施行者の技量に左右されない 乳房に触れることなく検査が可能 検査の再現ができ検査を見直すことができる 乳房を立体的に把握できる 	<ul style="list-style-type: none"> 個人差はあるが、圧迫が少なく、通常痛みは伴わない 精密検査としての血流測定が追加できる

《連絡先》 国立病院機構 大分医療センター 地域医療連携室
大分市横田2丁目11番45号 TEL 097-593-1111(代) 内線 712
FAX 097-528-9651(地域医療連携室)